

(社) 日本介護福祉士会の認知症介護教育に関する取り組み

I (仮称) 認定専門介護福祉士 (認知症) 養成研修の概要

1. 研修の達成目標

- ① 認知症の人の尊厳を十分理解し、尊厳を支える具体的な介護ができる
- ② 介護過程の展開が適切にできる (ニーズの把握、介護計画の作成、実行、評価)
- ③ 自職場で部下や後輩に認知症とそのケアについて説明できる
- ④ 自職場で認知症介護での問題解決ができる

2. 研修時間

講義および演習 140 時間以上

自職場実習 160 時間

(欠席した場合、3 年以内に全科目を修了するものとする)

3. 受講要件

- 原則として以下の 3 項目を満たしている者
- ① 介護福祉士取得後、5 年以上の実務経験を有する者
(実務経験は介護の業務とし、介護支援専門員、相談員等の業務は含まない。)
- ② 介護施設、認知症グループホーム、訪問介護事業所等で日常的に認知症ケアを実践している者
- ③ (社) 日本介護福祉士会の生涯研修に位置づけている「ファーストステップ研修」を終了している者又は生涯研修制度に位置づける研修を 150 時間以上 (100 ポイント以上) 終了している者
- 以上 3 項目要件該当者と同等の経歴・経験を有していると所属支部が認めた者

4. 認証機関と認定方法

- (社) 日本介護福祉士会の (仮称) 認定専門介護福祉士養成委員会を設置し、認定。
- 認定方法
- ① 研修終了後、試験を実施する。
- ② 自職場実習終了後にレポートを作成し、提出する。

5. 受講定員 40 名

6. 養成研修の内容

科目名	内容	時間
研修受講にあたって	研修のねらい、進め方 グループワーク方法論 事例のまとめ方	6
認知症の人の生活の理解	生活とは何か 認知症が及ぼす生活への理解 環境が及ぼす影響	6

認知症の人の共感的理解	認知症の本質と生きる意味の理解 同じ人として出会うために 喪失体験の理解、心身状態の変調の理解、心理的状況 その人らしさについて	12
認知症の人の医学的理解	認知症を引き起こす疾病について 認知症の症状 B P S D 認知症の治療	6
認知症の人の介護の基本、原則	認知症介護の現状 認知症の人の尊厳と介護の倫理 認知症の進行と状態に応じた具体的な介護 環境、関係を支援すること	30
認知症の人の心理的理解とコミュニケーション	認知症の人の心理と行動 認知症の人とのコミュニケーション	12
サポートネットワーク	介護保険制度と認知症の人の支援 認知症の人の社会的・地域的支援体制 医療・福祉との連携 家族への支援や関わり 認知症の人の権利擁護	12
介護過程の展開	介護過程の意義と目的 生活に視点を置いたアセスメント 生活支援のための介護計画	24
職員への教育方法	職員教育の理論と実際 チームケアの理論	6
事例検討	事例検討の方法 事例検討のまとめ方 事例検討の活用方法	20

II 各支部での取り組み

各支部で認知症介護について研修を実施しているが、内容については定めていない。

(例) 東京都介護福祉士会の取り組み

1. 介護福祉士初任者研修(4日間)のなかで認知症介護3時間を実施している。
2. 一般研修として3日間実施している。
 - ① 認知症介護の基本 パートⅠ
 - ・認知症の人の理解
 - ・認知症の人とのコミュニケーション
 - ② 認知症介護の基本 パートⅡ
 - ・精神症状・行動障害の理解と対応の実際 等
 - ③ ひもときシートの活用